

学校教育目標	「つながり いきいき 倉田っ子」 【知】自ら問題を見つけ、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、粘り強く解決する子を育てます。 【徳】豊かなかかわりを通して、学校や社会のきまりを守り、自分も友だちも大切にすることを育てます。 【体】心や体の健康に関心を持ち、しなやかでたくましい心と体をつくろうとする子を育てます。 【公】倉田のまちや社会に学び、夢や目標をもって、自分の役割を考え行動する子を育てます。 【開】多様性を受け入れ、新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現に向けて行動する子を育てます。				
	創立 36 周年 児童生徒数: 444 人	学校長 末松 隆一郎 主な関係校: 豊田中学校 豊田小学校	副校長 松本 仁治	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 5

教育課程全体で育成を目指す資質・能力 ー資質・能力ベースー ○問題発見・解決能力 ○自分づくりに関する力 を目指すための中心的視点 ①探求心を高める教育活動 ②多面的にものごとをとらえる力 ③自己決定力・自己指導能力 ④自他を尊重し、お互いに高め合う力 ⑤基本的な言語能力	豊田中ブロック 豊田中学校 倉田小学校 豊田小学校	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 自ら考え自ら学び、人やもの・地域と豊かに関わり、 ともに輝く児童・生徒の育成 ①校内外において、気持ちのよいあいさつのできる子の育成 ②地域の人やもの、環境を材にした、生活科・総合的な学習の時間を核とした『横浜の時間』の充実
--	---	--

中期取組目標 A「子ども達一人一人を大切に、まちとともに歩む学校を創ります。」 B「『ひと・もの・こと』との関わりの中で対話的に学び、見方・考え方を深め、思いや願いを実現する子を育てます。」 ○「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、まちとの「つながり」を通して学びを深める学習活動を充実させる。 ○個に寄り添った支援を大切に、1人ひとりの自己肯定感を育て、安心した学校生活を送れる倉田小学校を目指す。 ○「ひと・もの・こと」と主体的に関り、目的意識、相手意識を大切に授業展開により、適切な自己決定ができる児童、自分自身をより豊かにしようとする児童の育成を目指す。
--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①学力向上を図るため、目的意識・相手意識を大切に授業展開を工夫する。そのために教材研究・実技研修・重点研究を充実させるとともに、授業改善支援を積極的に活用する。(研究・研修の日常化) ②基礎学力の向上や学習習慣の定着のために学習のスタンダード化(朝学習や宿題など)を図る。
担当	カリキュラム・マネジメント	
徳	道徳教育	①「異なる意見」を尊重し、なおかつ自分の意見を主張できる学級の「風土づくり」に努める。 ②子どもたちが自主的に「挨拶」をし、子どもたち同志がお互いに関わり合おうとする人間関係の構築を図る。 ③学習課題を自分事としてとらえ、価値把握と振り返りを大切に道徳科授業を実践し、道徳実践力を高める。 ④「豊かな心の育成推進校」の取組を通して、学校全体の授業力向上を図る。
担当	リスクマネジメント部	
体	健康教育	①豊かなスポーツライフが送れるよう、実技研修をしたり授業や材の共有をしたりすることで、授業力の向上に努める。②体力テストの結果をもとに、実態に合わせた体力向上の取り組みを行えるようにする。③健康な体づくりを推進するため、「食育」に焦点をあてて取り組んでいく。
担当	カリキュラム・マネジメント	
公開	まちとの「つながり」(地域学校協働活動)	①OSK(公開授業)3回、運動会等を適切な内容や時期を設定し、地域と学校とのよりよい関係を築く。②学校運営協議会(学校地域コーディネーター、明治学院大学、上倉田地域ケアプラザ、上倉田連合・下倉田連合)を通して、地域と学校の連携を密にし、学校の教育活動に生かせるような体制を整えていく。 ☆上記①②を軸に、アフターコロナにおける「Open kurata」の具現化を図っていく。
担当	学校マネジメント・管理職	
	自分づくり(キャリア教育)	①地域や社会の人やモノとの「つながり」(体験的に学ぶ機会)の場を積極的に設け、児童が様々な人の考え方を知り、多面的な視点をもてるようにする。(自分の生活に生かす)②自分たちで活動を成し遂げるといった経験を積み重ねていくことで、自己有用感、自己肯定感を高める。
担当	学校マネジメント	
	いじめへの対応	①教職員一人一人がアンテナを研ぎ澄まし、基本方針に基づき、迅速に対応する。 ②いじめの疑いがあった時には、担任・学年・専任・管理職の連携により組織的に対応する。 ③学年主任会、職員会議、打ち合わせ等で定期的に「いじめ防止対策委員会」を開き、児童の情報を共有する。
担当	リスクマネジメント部	
	児童生徒指導	①倉田っ子スタンダードは、状況、情勢に応じて柔軟に見直し、共通理解を図るとともに、理由をもって指導に当たる。また、マスクの着脱については、国・市の方向性をもとに、校内の感染状況等も鑑み、段階的に取り組んでいく。 ②教科担任や交換授業を積極的に実施し、学年児童全員と関わりながら児童理解、児童指導に当たる。
担当	リスクマネジメント部	
	特別支援教育	①教室環境、言語環境等において、ユニバーサルデザイン教育を理解し、環境整備を整える。 ②特別支援教室・スマイルルームの運営体制の一層の構築と強化を図り、倉田小における「学びの場」としての役割及び本校特別支援教育を確立させていく。
担当	リスクマネジメント部	
	人材育成・組織運営(働き方)	①自分のキャリアステージについて教職員自身が理解を深めるとともに、それぞれのミッションを明確にし、それを見据えた目標設定を行い、全員参画の学校運営としていく。②3部会内の仕事を見直し、役割の明確化、円滑な引継ぎができるような組織運営を図る。 ③月平均時間外在校等時間数35時間以下を目指し(現:38~45)引き続き働き方改革を進めていく。
担当	学校マネジメント	
担当		